「審査希望分野」欄の記入例

「審査希望分野」を一つ選択する場合と、複数選択する「広領域応募」の場合とで計画調書の記入方法が異なりますので、それぞれについて記入例を示します。

「広領域応募」とは？

応募に際しては、審査を希望する分野について、最も適切なものを「平成２４年度研究成果公開促進費審査希望分野表」から必ず１つ選択することとなっています。

ただし、応募する刊行物又はデータベースの内容が複数の分野にまたがる場合などは、「参考となる関連専門分野」を参照の上、２つまたは３つの「審査希望分野」を選択することができます。

このように、２つ又は３つの「審査希望分野」を選択した場合の応募方法のことを「広領域応募」と言います。

また、複数の分野にまたがる応募課題にあって、「平成２４年度研究成果公開促進費審査希望分野表」の「参考となる関連専門分野」に該当するものがない場合でも、専門分野の近い分野を各系からそれぞれ１つずつ選択し、「広領域応募」として応募することができます。

Ⅰ　計画調書の記入例

①　「審査希望分野」を一つだけ選択する場合

1 審査希望分野(番号)	哲　学　（１１０）

○ 「審査希望分野」の名称を記入すると共に、対応する番号を（　）内に記入してください。

＜1-2は、広領域応募の場合のみ記入＞

1-2 審査希望分野（番号）	（　）	系	系
	（　）		系
	（　）		系

○ 1-2の記入欄は、空欄のままとしてください。

②　「広領域応募」の場合（複数の「審査希望分野」を選択する場合）

1 審査希望分野(番号)	（　）

○ 1の記入欄は、空欄のままとしてください。

＜1-2は、広領域応募の場合のみ記入＞

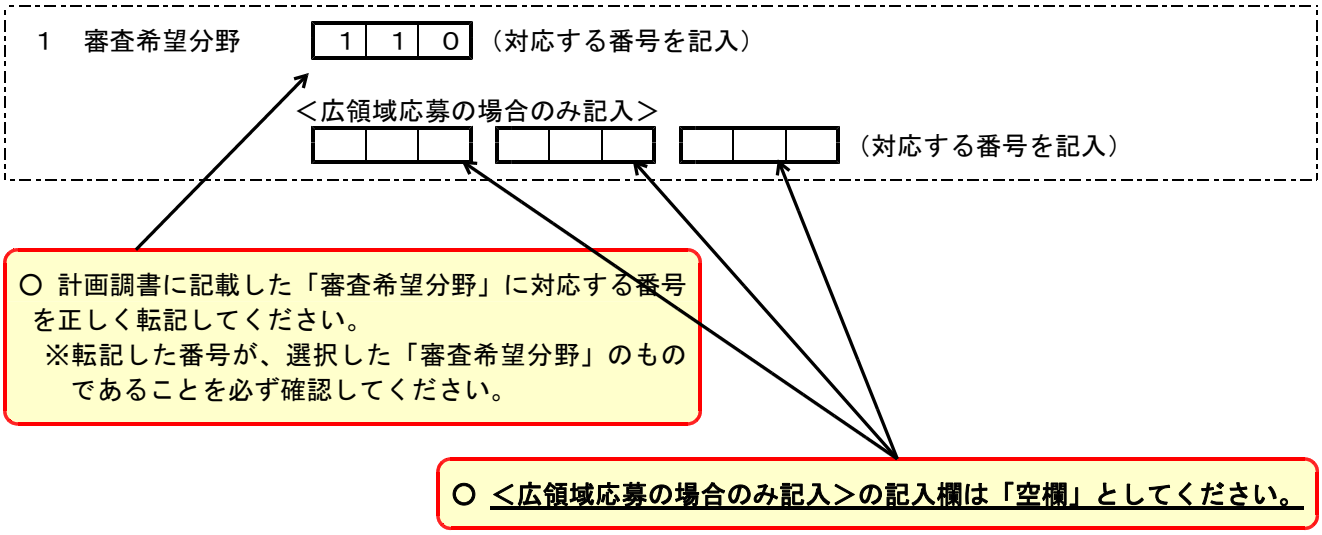
1-2 審査希望分野（番号）	工　学　B（３５０）	系	理工系
	医歯薬学A（４３０）		生物系
	（　）		系

○ 「審査希望分野」の名称を必ず２つ又は３つ記入し、対応する番号を（　）内に記入してください。

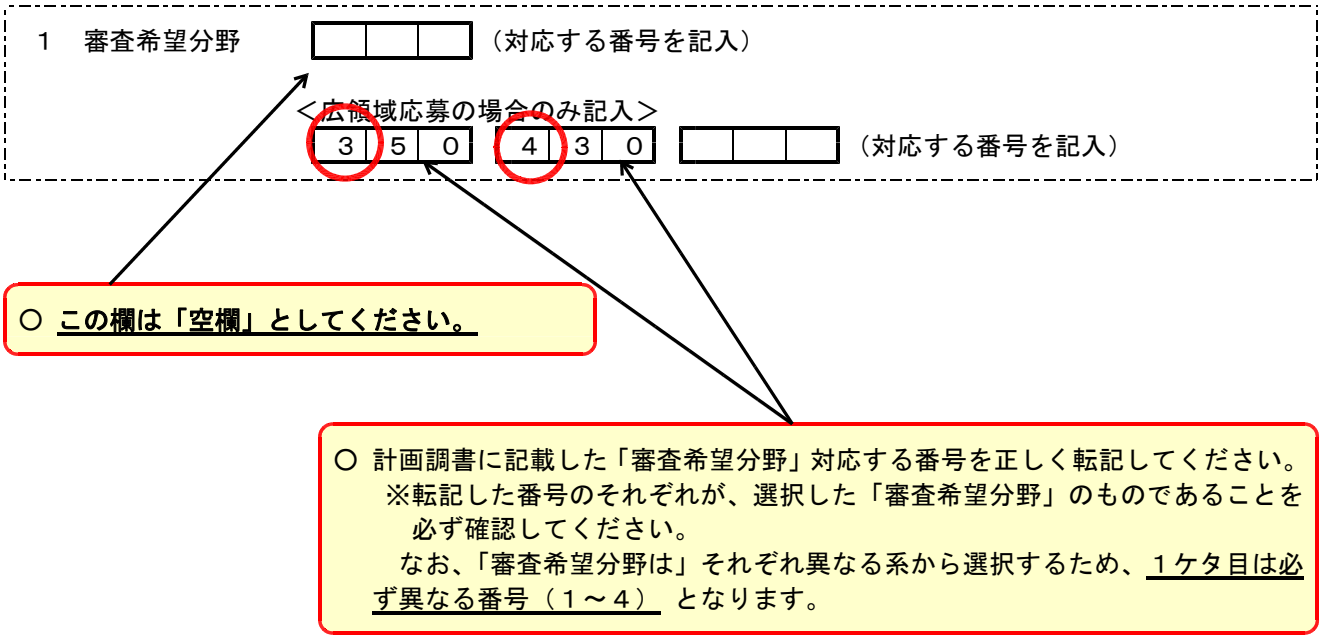
○ 「審査希望分野」に対応する「系」も記入してください。
なお、この「系」については、必ず異なる系となるように「審査希望分野」を選択してください。
※同一の「系」の中から複数の「審査希望分野」を選択する事はできません。

Ⅱ　応募カードの記入例

①　「審査希望分野」を一つだけ選択する場合



②　「広領域応募」の場合（複数の「審査希望分野」を選択する場合）



◎　「審査希望分野」の記載方法に誤りがある場合は審査に付すことができなくなりますので、応募カードを作成する際は、**「平成２４年度研究成果公開促進費審査希望分野表」**（公募要領１８頁）に記載のある番号であることを必ず確認してください。